

教育研究上の目的

教育研究上の目的

(松戸歯学部)

口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし、それを具現化した「メディコデンタル（医学的歯学）」の学びを礎（いしずえ）に、単に歯科医療の知識や技術だけではなく、対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を育成する。

(歯学科)

歯科医療及び公衆衛生の向上と増進に寄与するため、社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自律する歯科医師を養成し、患者本位に考える歯科医療の達成を目標とする。

以 上

教 育 方 針

松戸歯学部

① アドミッション・ポリシー (入学者受入れ方針)

1. 歯科医学を通じて社会に貢献したいという目的意識を持って人
2. 歯科医学を修得するための基礎的な学力とコミュニケーション能力を兼ね備えている人
3. 自主的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考力を持つ人
4. 他人に対する思いやりを持ち、社会的責任感が強く奉仕的精神を備えた人

② カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

6年間に教養系領域、医療行動科学領域、基礎形態機能学領域、分子生物学領域、病態基礎医学領域、社会系歯科医学領域、臨床歯科医学領域、総合医学領域、歯科医学総合講義領域、臨床実習領域の10領域を配し、講義の多くは統合型講義となっています。そのなかで現代の高齢社会に適応する障害者歯科学、高齢者歯科学を、そして食育に応える栄養学を充実させています。また、1年次から6年次に亘り「医療行動科学1～9」を設置し、対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を育成しています。

③ ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

6年間を通じ、歯科医師としての基礎知識・技術の習得と対人関係能力や医療人としての人格を備え、本学部の教育方針に基づいた各分野の授業科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に学士(歯学)の学位を授与します。